

雁坂峠

標高 2,082m

山行実施日

2016年
10月2日

メンバー
(L)H高、
GK



峠にて

雁坂峠に行くだけであれば比較的容易に到達はできるのだけれども、それではちよつと面白くない。地形図を眺めていたら、雁坂嶺から南に伸びている南尾根(仮称)に登り、雁坂峠に下ってから奥秩父主稜線を水晶山の方まで登り返し、古札山から伸びる南西尾根(仮称)を下れば、時計廻りに周回できることに気が付いた。

M字形に登って下り、登り返して下るといふ、まさにちよつとどMなルートだ。GKさんを誘って二人でトライすることに。

六時半過ぎに雁坂有料トンネル、山梨県側にある駐車場を歩き出す。天気は今一つでちよつと小雨が降っていたがまあ何とかなるでしょう。しばらく一般道を歩いていたが、地形図と実際のルートが違っていたので取り付きポイントを通り過ぎてしまった。適当な所で下降し、峠沢沿いに下降してナメラ沢との分岐まで戻り雁坂嶺南尾根に取り付く。

南尾根は特に迷うこともない一本調子の尾根だ。1700m位の所から予想通りクマザサが出てきたが、南側で日光が良く当たっているせいか、くるぶしくらいまでしか成長していなかった。

テープが所々ある中、快適に高度を稼ぐ。2000m位まで上がったら、

ほぼ同じ高さに目指す雁坂峠が視認できた。

十時過ぎに奥秩父主稜線に着。そこから僅かな登高で雁坂嶺に到達。写真撮ってすぐに下降。途中で出会った登山者は、何と先週私が登っていた平標山に行っていたことが判りビックリ。まあ確かに、地下足袋作業スボン頭に手ぬぐい鉢巻きしていたのはあんだらうと言われりやそのとおりです、ハイ。

草原の雁坂峠に到達、天気は持ちそうなのでそのまま当初の予定通り奥秩父主稜線を東に歩行し、一時間弱で古札山の山頂着。ここでランチタイム。今回はラムのすき焼きを作ってみたが、結構美味だった。多少のアルコールも摂取し、良い気分になつてから下降開始。

最初はほぼ真西に伸びる尾根を下降し、1000m程下ってから南西にターンする。このターンは上手いきき、1000mの小ギヤップを登り返して確かにルート上に乗っていることを確認した。

しかし、次のターンポイントを手く確認することができず、危うく進行方向左側の沢に落ち込みそうに

なる。GPSで位置確認し、右側に戻って想定ルートに戻った。地形図とコンパスだけで下降したかったのだが、まだまだだ・・・やはりGPSに頼ってしまう・・・

この後は比較的尾根が明瞭だったこともあり、迷うことなく1000mのポイントを通りトンネル上部にまで至った。地形図上では林道に下るところ一帯が崖マークだったので、懸垂下降をする想定で8x8mロープを持参していたのだが、案ずるより産むが易しと言う感じで、テープを追いかけていったら最後はコンクリート製の階段を下って林道に降り立てた。ダイレクトに出発地に戻れ、満足度が高い山行でした。

(H高記)

コースタイム

トンネル脇駐車場 6:40-7:48 雁坂嶺南尾根取付-8:45 1725m-10:12 稜線-10:18 雁坂嶺-10:45 雁坂峠 11:00-11:32 水晶山-11:58 古札山 13:09-(古札山南西尾根)-15:15 トンネル脇駐車場